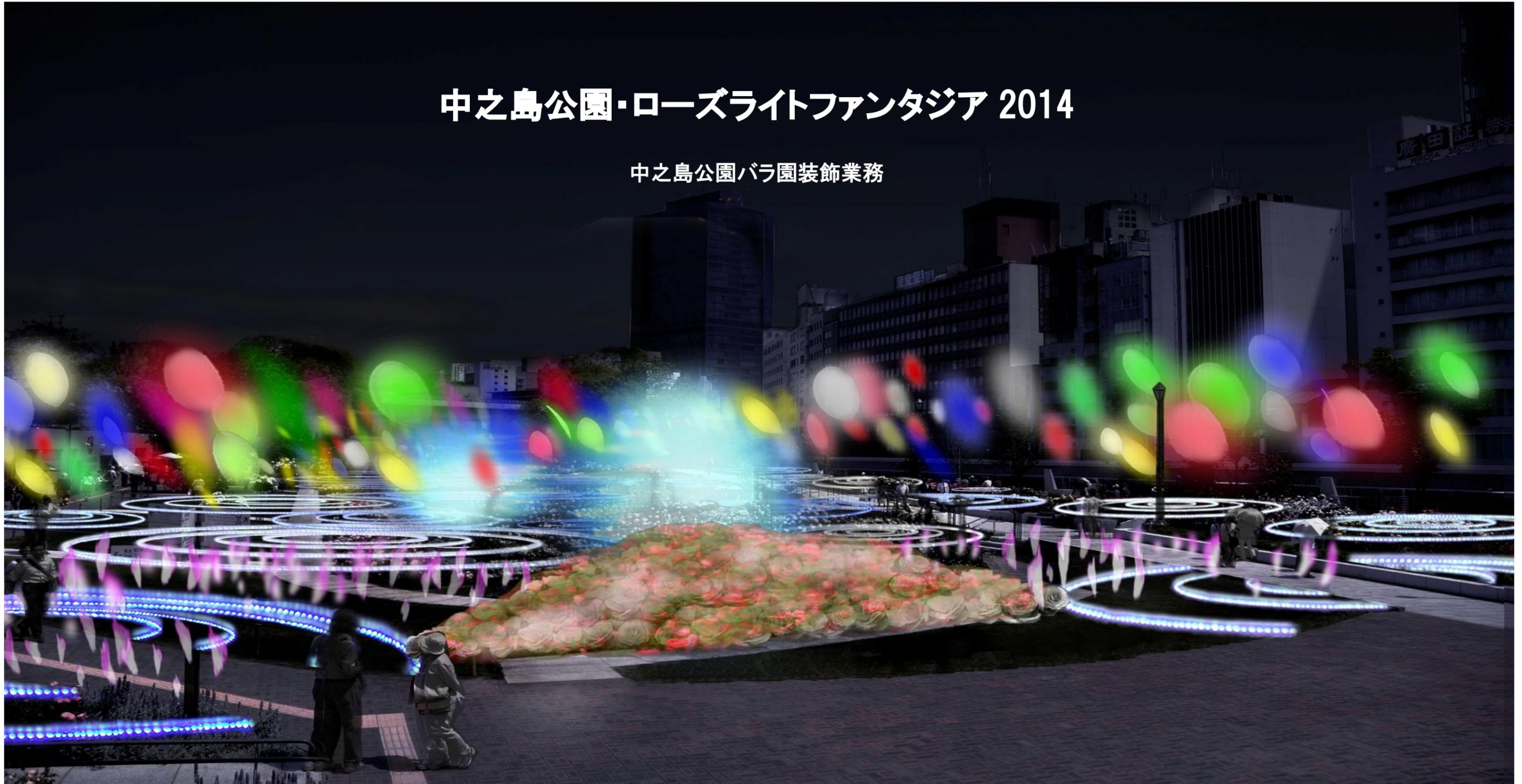


中之島公園・ローズライトファンタジア 2014

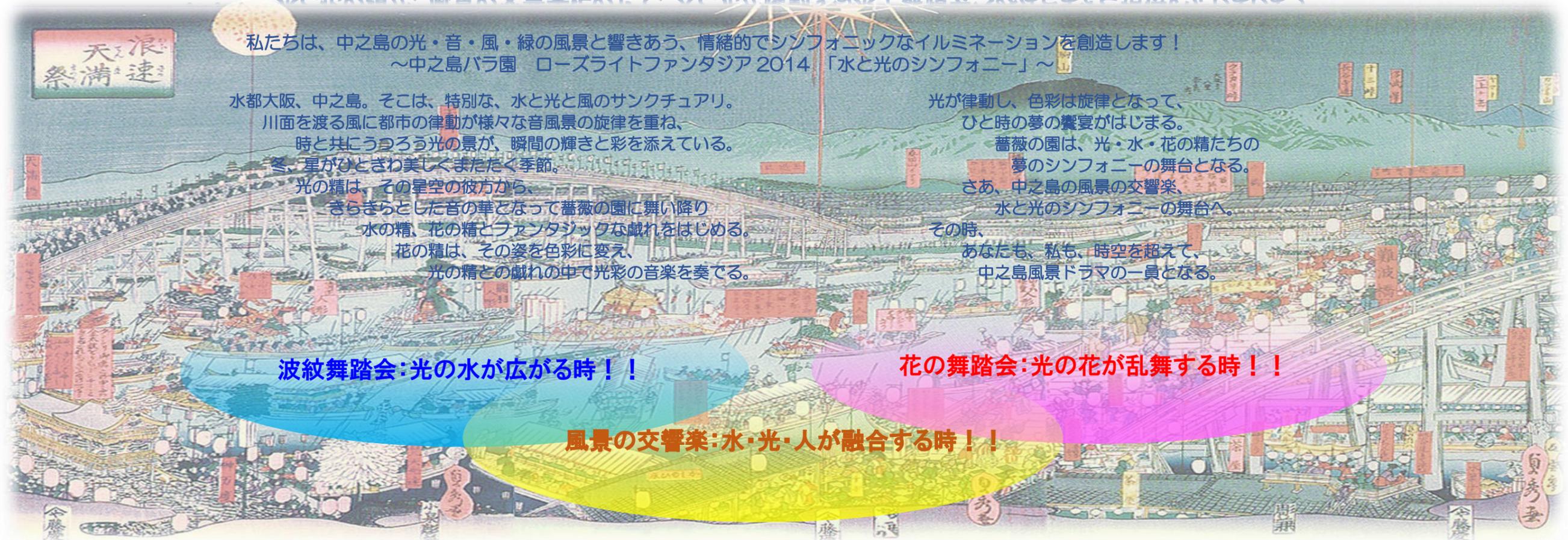
中之島公園バラ園装飾業務



平成 26 年 6 月 10 日

「中之島、水の精・花の精がみちびく光のシンフォニーの世界へ！！！」

・・・ 水と花の精が、風景の交響楽にのせて、人と光が躍動する水上舞踏会へみなさまをご招待いたしましょう



私たちは、中之島の光・音・風・緑の風景と響きあう、情緒的でシンフォニックなイルミネーションを創造します！
 ～中之島バラ園 ローズライトファンタジア 2014 「水と光のシンフォニー」～

水都大阪、中之島。そこは、特別な、水と光と風のサンクチュアリ。
 川面を渡る風に都市の律動が様々な音風景の旋律を重ね、
 時と共にうつろう光の景が、瞬間の輝きと彩を添えている。
 冬、星がひとさび美しくまたたく季節。
 光の精は、その星空の彼方から、
 きらきらとした音の華となって薔薇の園に舞い降り
 水の精、花の精とファンタジックな戯れをはじめ。
 花の精は、その姿を色彩に変え、
 光の精との戯れの中で光彩の音楽を奏でる。

光が律動し、色彩は旋律となって、
 ひと時の夢の饗宴がはじまる。
 薔薇の園は、光・水・花の精たちの
 夢のシンフォニーの舞台となる。
 さあ、中之島の風景の交響楽、
 水と光のシンフォニーの舞台へ。
 その時、
 あなたも、私も、時空を超えて、
 中之島風景ドラマの一員となる。

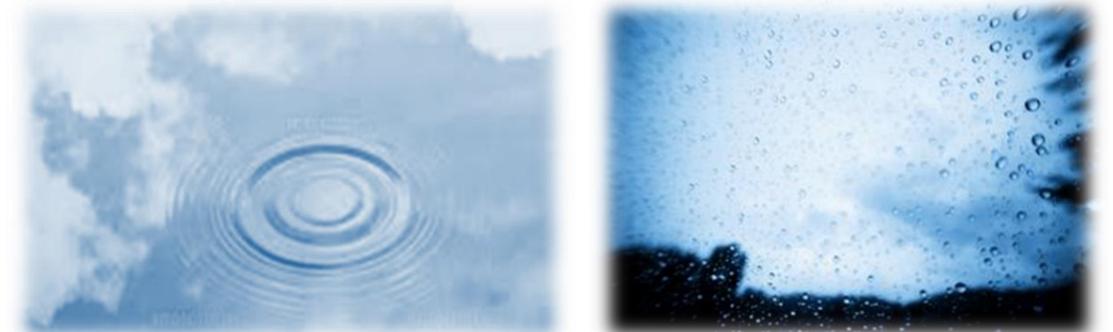
波紋舞踏会：光の水が広がる時！！

花の舞踏会：光の花が乱舞する時！！

風景の交響楽：水・光・人が融合する時！！

園内を歩くに連れ、刻々と変化する光の景と色彩の空間ドラマ。

例えば、回廊や回遊式庭園のように、停まって「観る」のではなく、歩きながら五感で楽しむ音と光の回遊空間を生み出す。
 ※お年寄りや子供も考慮した人の歩行速度（約 1m/1.秒）を念頭に、所定の順路を歩く際の推定所要時間：約 5 分～6 分と
 うまくリンクしたシーンプログラム（シンフォニーをモチーフとした楽章構成）によって、イルミネーションを遊覧していただく。



ブルーの「波紋」照明が、音楽と同調し、来場者を光の水のダンスの世界に誘います。

■第一楽章：波紋舞踏会 光の水が広がる時！

♪中之島の夕景に水の精、現わる

滴たちのダンスを思わせる音楽が聞こえ始め、それに連れてブルーのライン照明による波紋が現れる。
 やがて、音楽と光の波紋が同調を始め、光の水の世界へと人々を誘う。

♪一つの波紋から水の舞踏会、始まる

光の波紋は、初めランダムに、近づいたり離れたりしながらバラ園に光の律動をつくる。やがて、互いに光の輪を重ねながら、あちらこちらに広がり、呼吸するかのように明滅を繰り返す。その様は、まるで光の波紋の舞踏会のように。幾重にも輪が生まれ、やがて、全ての輪が光って、波紋の地上絵を浮かび上がらせる。訪れた人々は、その神秘的なブルーの光の世界に身も心も染まる。

■第二楽章：花の舞踏会 光の花が華麗に舞う時！

♪中之島の夜景に薔薇の精、現わる

光の波紋の輪が、残像を残して消えると、その余韻の中からローズピンクの光の花が咲き始める。
「光の花園」が、にわかに淡いバラ色に色付きはじめ、その彩りが、薔薇の精の現れとなってファンタジックな光と彩りの世界へと誘い始める。

♪つぎつぎと花が咲き始め舞踏会、始まる

音楽が、風のゆらぎのように、軽やかな旋律を奏ではじめると、色彩は鮮やかさを増し、踊るような色変化と流れるような色彩の旋律が生まれる。その中で、薔薇の精霊の記憶の風景が画像となり、「葉牡丹スクリーン」に映し出さる。

♪花の舞踏会最高潮、空間を超えて舞いは広がる

花の精の舞いは、さらに空間を超えて華麗に広がり、「光の風華」の光に鮮やかな色彩のダンスとなって現れる。音楽が、様々な音色を奏ではじめると、花の舞踏会は最高潮に達する。花の精は、さらなる交歓を求めて、水の精を眠りから目覚めさせる。



「花のゆめ」のイメージが、画像となって葉牡丹のスクリーンに投影されます。



■第三楽章：花の精と水の精が交歓する時！

♪水の精、ふたたび

薔薇のシルエットを映し出していた光が消えると、どこからともなく滴たちのダンスの音が聞こえ始める。
花の精は、光の花園に舞い戻り、花の色をブルーに染めて、水の精の目覚めを祝福する。
清らかな精霊たちの合唱が生まれ、中之島公園は、済んだブルーの世界に包まれる。
厳かで済んだブルーの世界に包まれる。

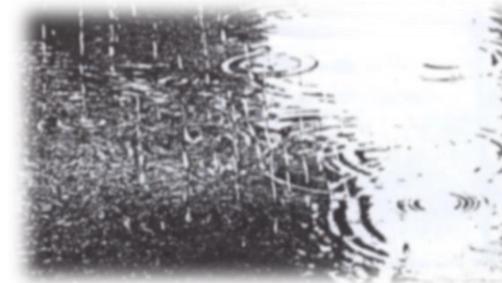
♪花の精と水の精の舞踏会は始まる

やがて、光の波紋が舞いを始め、薔薇園全体に広がり始める頃、「光の花園」の花々は、ブルーからローズピンクへと色を変える。

音楽と同調するように、波紋が踊り、光の花の光彩がファンタジックに変化してゆく。
花の精と水の精の舞踏会が始まる。

♪水と光のシンフォニー 最高潮

音に姿を変えた光の精は、様々な音色を奏でて、花の精と水の精の舞いを祝福しながら盛り立てる。
光の波紋はあちらこちらで点滅し、「光の風華」は輝きを増す。周囲の川の水面に映る水鏡の景色が、美しく情緒的な彩りのアンサンブルとなる。水と光のシンフォニーは、最高潮を迎える。



川沿いの空に咲いた風に揺れる「光の風華」が、川面に美しい光の彩を映します。



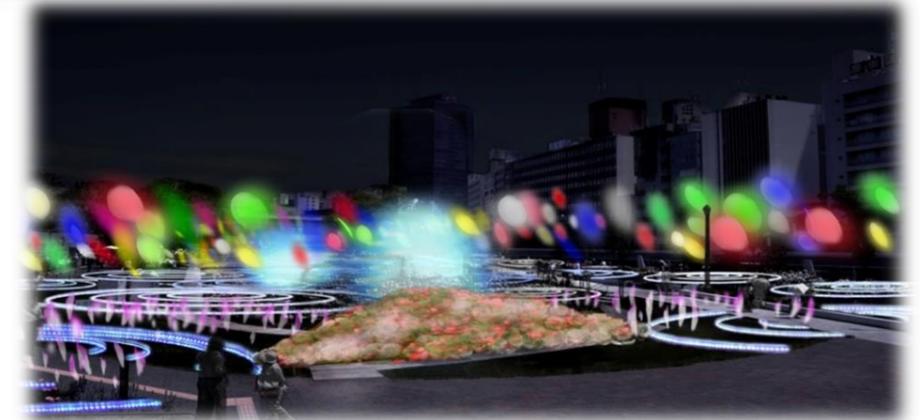
■第四楽章：光の精、水の精に導かれて空へ

♪舞踏の終わりを告げる光の音

水と光のシンフォニーが最高潮に達した時、薔薇園全体に、済んだ鐘の音色にも似た光の音が響き渡る。
光の花園は、淡いローズピンクに戻り、音楽は、エピローグへと向かう。

♪光は霧となり、宙（そら）へ 花の精は、滴のつぼみとなり、夜明けを待つ

薔薇園に響き渡る光の音の余韻の中から、水の精が霧に姿を変えて現れる。
花の精は、光の精の旅立ちを見送るかのようにその霧にローズピンクの色彩を与え、幻想的な風景を生み出す。
光の精は、霧の粒子となり、宙へと帰ってゆく。中之島の頭上にポツカリと空いた、星空の彼方へ。
花の精は、水の精と一緒に薔薇の枝先で滴のつぼみとなり、やがて訪れる夜明けを待つ。
ひと時のシンフォニーは終わり、薔薇の園に、訪れた人々の喜びに満ちた賑わいが浮かび上がる。



ミスト演出による「光の霧」が、水と光のシンフォニーのフィナーレを飾ります。

< オリジナリティ >

●観客自らが中之島公園の環境から感じる「水と光のファンタジー」を発見する光の演出を行います！！

①水を感じる特別で、印象的、情緒的に感じるためのストーリーを構築します

「五感にひびく体験のストーリー」＋「気配の演出」＋「時空間風景ドラマ」により、中之島公園バラ園のオリジナルファンタジーを立ち上げます。

- ・中之島公園バラ園の風景をキャンバスに、光と音と風が響きあう、情緒的な「風景ドラマ」を生み出します。
 - 「場の特性と魅力」をさらに引き立て、「ファンタジー」を「時空間風景ドラマ」として表現するデザイン・演出
 - 約5分～6分の「水と光のシンフォニー」の中で、歩むに連れて光の風景が移ろうような演出
- ・光、色彩、音の風景が、ファンタジックなハーモニーを奏でます。
- ・順路に沿って、視焦点と視界、音場がリズムカルに変化し、先へと進む楽しさを促します。

②水上公園中之島の最大の特徴である浮遊感を演出します

- ・光を映す媒体として、風や水面を捉えます。そこに光がさすことから生まれ現れる現象は、中之島公園の最大の特徴である水上公園の特徴にとどまらず中之島のイメージであると考えられ、この浮遊感を大切に提案を行います。

③土佐堀川と堂島川の水面に映り込みを活かし光を倍増・波及させます

- ・水辺への光の映り込みができる限り効果的なものとなるよう、上空に光を（制限以内）反映させることができる風のオブジェや霧への照射などを取り入れた演出を行います。



< デザイン性 >

●観客が進むにつれ場から立ち上がる「音と光と水の風景ドラマ」をデザイン・演出します

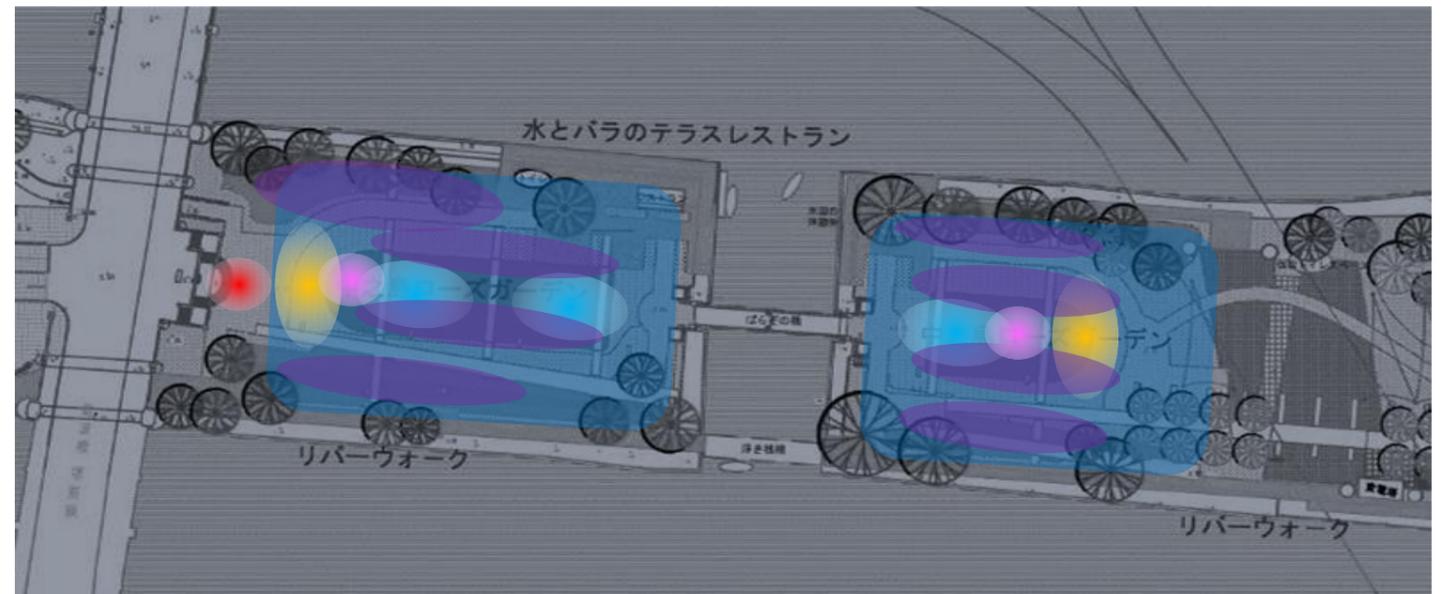
ファンタジックでストーリー性の高い空間デザインを実現するため、効果的な演出ポイントのレイアウトを行います。

近景、中景等の風景が印象深く構成されるよう、視点の中に自然現象と会場の環境が緩衝し合い、そこに「気配」と「ドラマ」生まれるようデザイン・演出を行います。

- 川面をはじめ、風や霧、植物等の自然環境と「水・音・光」を媒体とすることで、呼応する現象からファンタジーを感じさせます。
 - 夜景のみならず、昼間は形・見え方の面白さや、日光によるシルエットが独特の表情を生み出します。

これらの演出ポイントを、観客達はシンフォニーのストーリーに沿って、廻り、楽しむことができます。

- : 「光の精」(シンボル音)
- : 「光の波紋」
- : 「光の花園」
- : 「光の風華」
- : 「光の霧」
- : 「薔薇の精」(画像投影) 等



① シンフォニーの進行に沿った空間構成

光と音のシンフォニーのストーリーを、5分程度で会場に展開します。全4楽章の内、前半2楽章を順路内の往路（所要時間2〜3分）、後半2楽章を復路（同所要時間）とし、観客の動きに無理なくフィットさせます。光の演出は、次のような基本構成で行い、これに音響効果を順路に沿って施すことで、シナリオの総合的表現を実現します。

- ・観客を出迎える効果音と照射映像
会場エントランスにおいて、葉牡丹のスクリーンに対する映像照射と超指向性スピーカーによるサウンド効果によって、驚きのウエルカム演出を行います。
- ・地表面から始まる光の波紋
ばら園全体に、光の波紋が広がり地表面を覆い尽くす空間となるよう、芝生面を中心に、イルミネーションライン（DMX制御：LEDストリングスライト）を配置し、音楽に合わせて踊るような波紋の躍動を表現します。
- ・上空に浮遊・乱舞する無数の光花
地上 2.0〜3.5m の上空に、風に揺らぐ光の花（光のオブジェ）が浮遊する空間を演出します。フルカラーLEDやプロジェクターによる映像を映しこみ、会場全体に色彩鮮やかな舞踏会のシーンを繰り広げます。
- ・一体感を高める光軸
東西バラ園とバラ園橋を繋ぐシンメトリー軸に沿って霧のスクリーンへの映像投射や橋両側の水面に映りこむ演出により、東西の一体感とクライマックスから静かに朝を迎えるシーンへの移行を図ります。

② 第一楽章：水の精がもたらす一滴の雫から波紋の広がりへ

投影機からの映像により水の精が会場に現れ、一滴の水滴を落とすことから波紋が次々と広がり、躍動感あふれる水の舞踏会が展開します。

③ 第二楽章：「光の波紋」の舞踏会から上空の「光の風華」へ移行

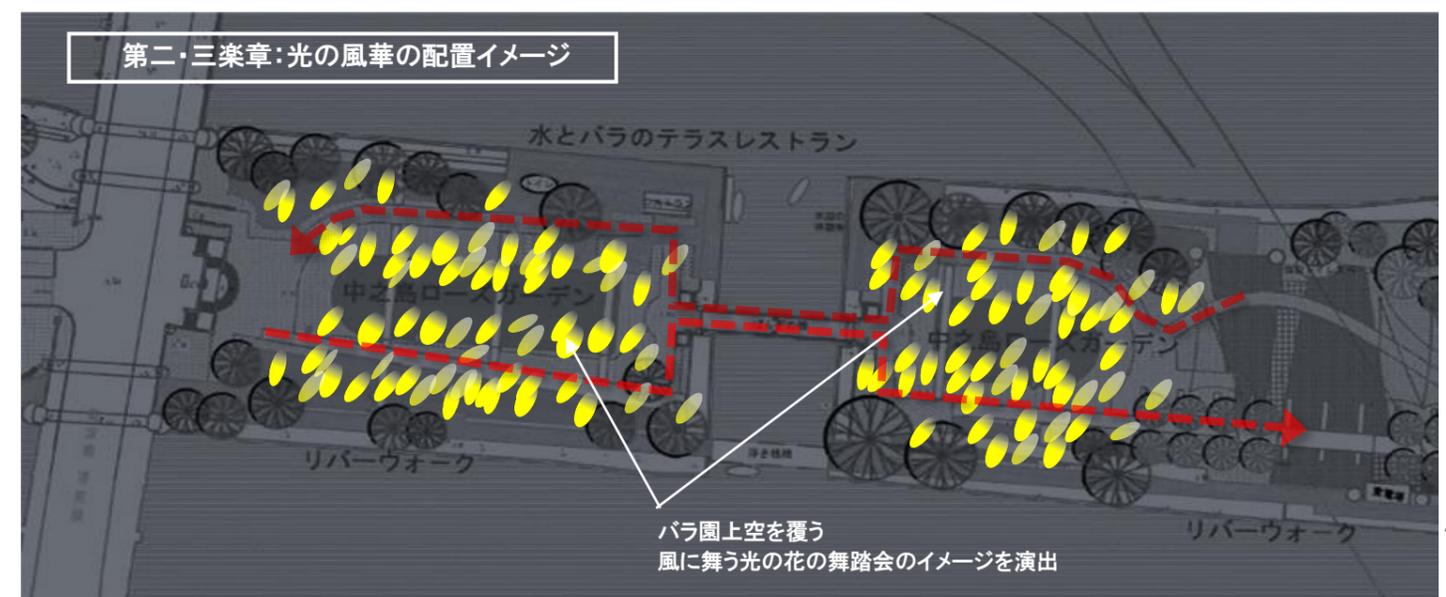
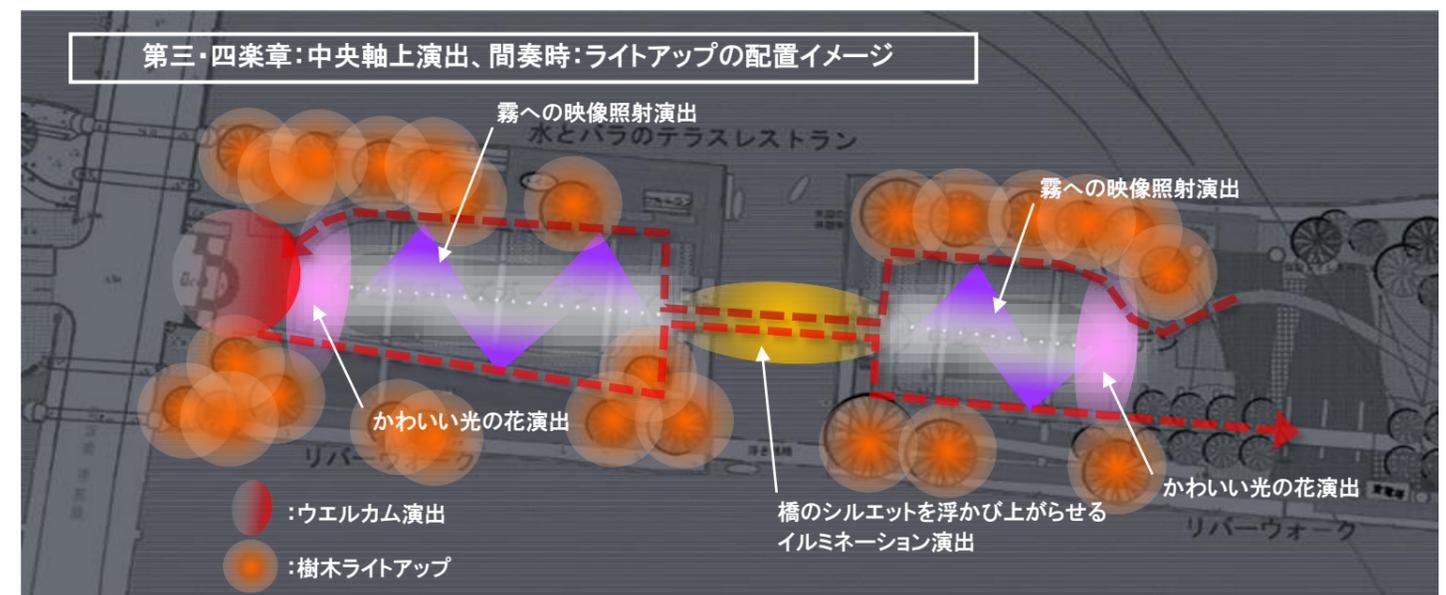
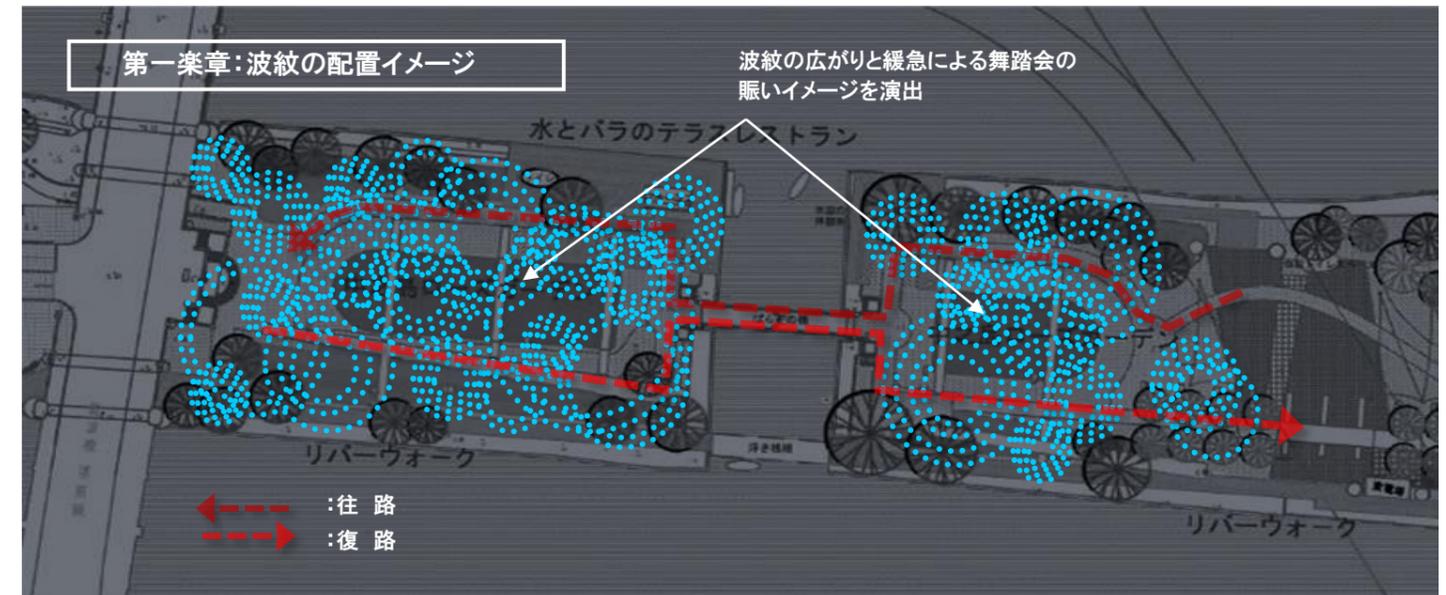
波紋が消えたところに、花の精が投影機により会場に現れ、上空に浮遊するオブジェに光が灯りはじめます。さまざまな色彩に明滅する風華が、光の舞踏会を繰り広げます。

④ 第三楽章：花の精が現れ、「光の風華」の舞踏会と霧への投射によるクライマックス

光の風華が、ある時一斉に光り、踊りはじめると、中央付近から霧が湧き上がり色彩感あふれる映像が投射され、舞踏会は最高潮となります。

⑤ 第四楽章：全体の光が徐々に少なくなり、舞踏会の静かな閉幕

霧と風華の光と動きは、少しずつ少なくなり、穏やかな舞踏会の終焉を迎えます。

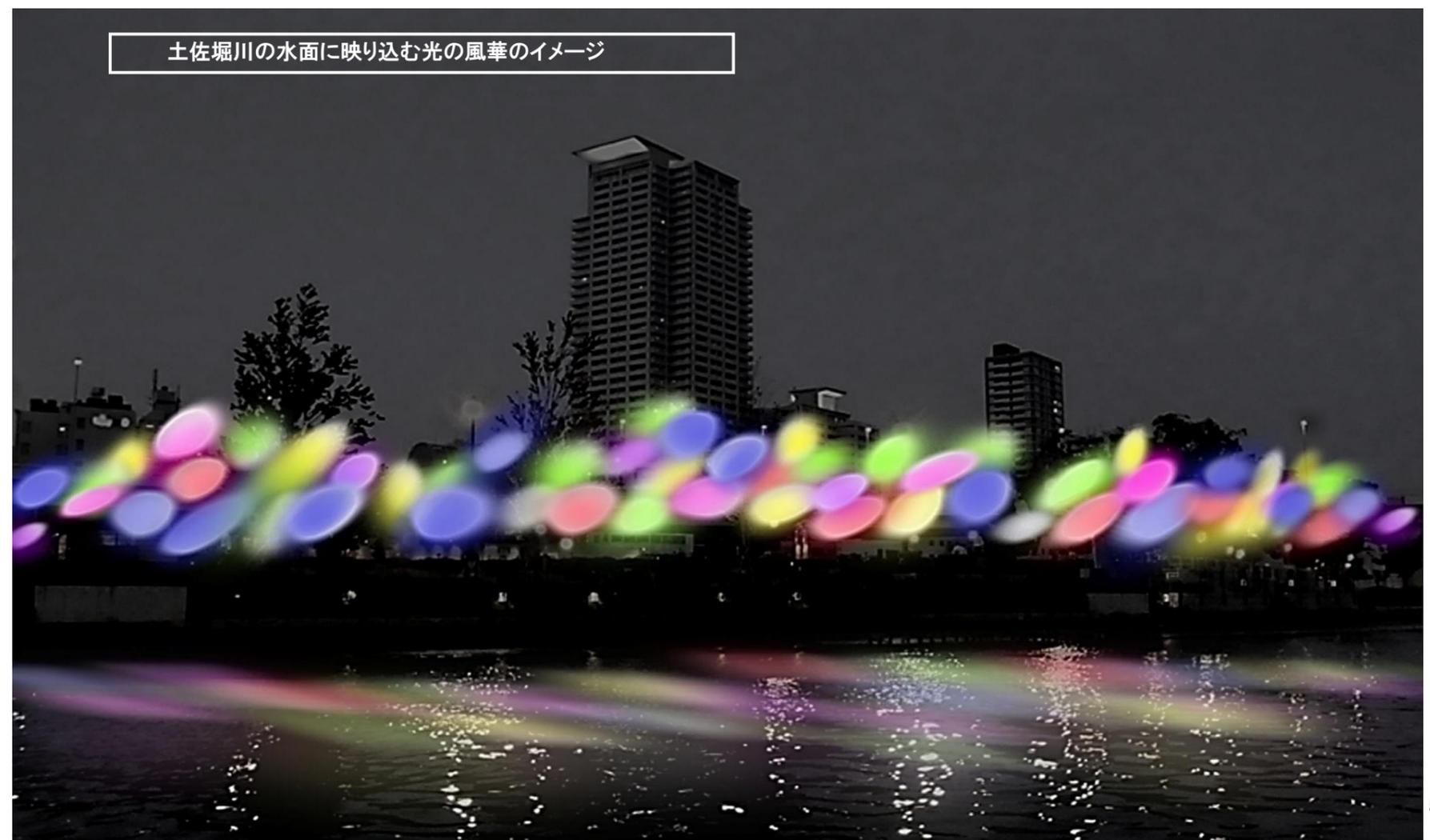
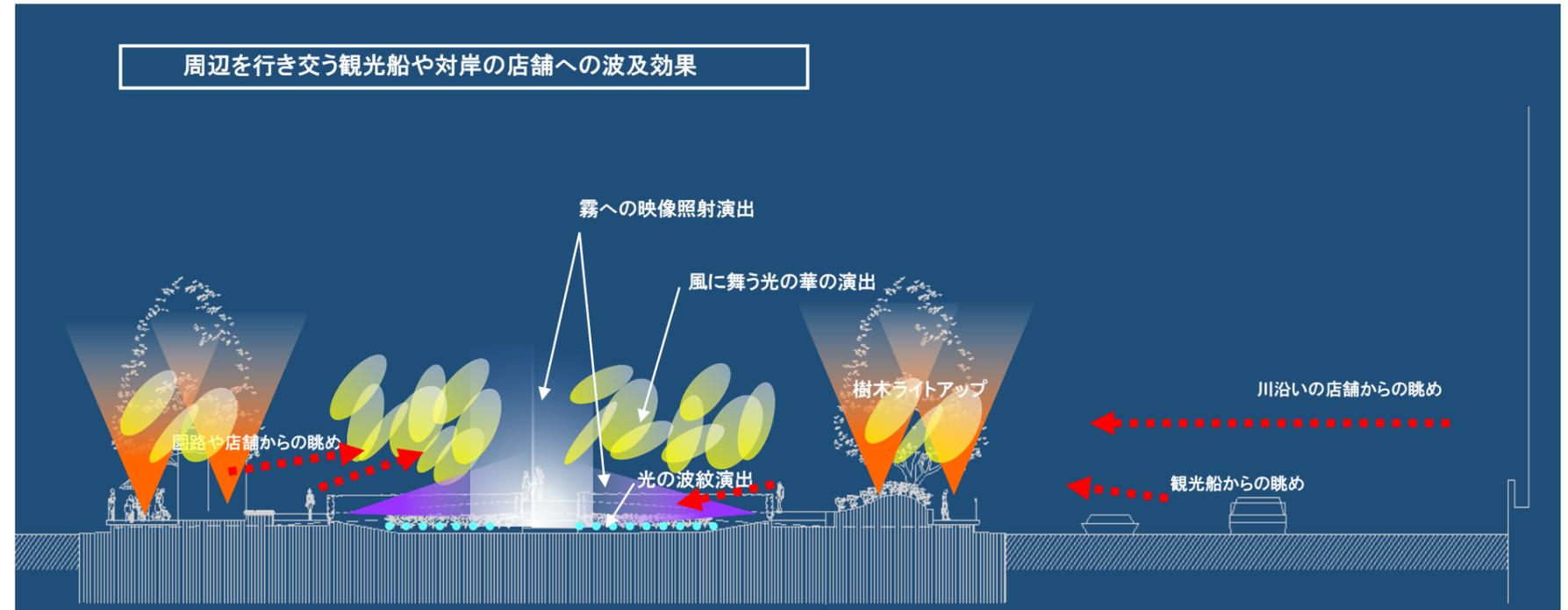


① 園路や観光船から効果的に鑑賞できる断面構成

- ・シンフォニー開始前のライトアップシーン
始まる前の風景を樹木へのライトアップで演出します。
- ・始まりを告げる光の妖精
上空からのプロジェクター映像により、光の妖精が地上に舞い降り、第一楽章がはじまります。
- ・光の波紋が広がる舞踏会
地方面のLEDラインにより、バラ園の沈床部一面を覆い尽くす水の輪が乱舞します。
- ・花の妖精が第二楽章へ誘います
プロジェクター映像により、バラ園内の一本の薔薇の株から、花の妖精が現れ第二楽章の始まりを告げます。
- ・空中に揺らぐ花の穂が明滅
風に舞い、七色に変化する光の花が上空を乱舞します。
- ・中央軸上に現れる霧のスクリーン
第三楽章は、バラ園中央に立ち上がる霧に、色彩と陰影により水と光の賛歌を繰り広げます。
- ・光の精、花の精が夜空と薔薇へと帰る第四楽章
霧と光の風華は静かに踊りを終え、妖精達は帰ります。

② 水面にダイナミックに映り込む立面構成

- ・水上からの視覚効果を最大限に高める光のオブジェ
バラ園の上空2.0~3.5mの高さ全体に色彩を変化させながら風に舞う「光の風華」を設け、水面への映り込みを際出せることで、水上公園としての演出効果を最大限に高めます。
- ・ばらその橋を水面に映すイルミネーション
橋のクラシックな形体を川面に映しこみ、行き交う船や周辺レストラン等に、楽しみの光を届けます。



「シンフォニー」を基軸にした、クオリティーの高い空間表現
～サウンドスケープデザインの考え方を取り入れた、風景の交響楽～

「中之島バラ園ローズライトファンタジア 2014 ～水と光のシンフォニー」というオリジナルの交響曲を作曲。演出の全てを、その曲にシンクロさせて統合コントロールし、全く新しい光と音の風景の交響楽を創作します。

この「統合コントロールシステム」によって、音と光を極めて高いレベルで調和・共鳴させ、オリジナルの時空間風景ドラマを生み出します。

・イルミネーションのための BGM という考え方を越えた、中之島の音風景をバックグラウンドとした音のデザインを行い、光景のデザインと音風景のデザインを融合させる、全く新しい試みを、ここ大阪中之島から発信します。

・また、演出の一場で、プロジェクターによって画像を投影し、音とイルミネーションによる調和性を視覚面からも補います。それにより、期待感と演出の効果を高めるとともに、「水と光のシンフォニー」の世界観を、より味わい深く体感していただきます。

- 音と光、色彩、映像投影を調和・共鳴させ、演出を空間表現に置き換えるための「イメージ譜」の例
第一楽章から第四楽章までをつなぐ連携するイメージの流れをつくり、調和・共和表現の「設計」を行い、それに基づいた制作を行います。

